



カタカタ通信

第96号

「巣材集め 枝編」

2023年10月23日

飼育管理の合間の仕事、巣材集めのお話です。今回は枝を集めます。針葉樹のヒノキやヒバ、スギなどの葉をつけた枝は繁殖期に集めますが、その他の枝は今の時期に集め始めています。いろいろな太さや長さの枝を探し、コウノトリが好きな枝を選べるようにします。

先端の柔らかいイヌシデの枝を好むようで、折れにくく柔らかいため使い勝手がよさそうです。イヌシデは冬になると葉や実が落ちて、わかりづらくなるため、今のうちに木の場所をチェックします。わかりづらくなる前に集めておけばいいと思うかもしれませんが、枝についた葉っぱを取るのが大変なので葉が落ちた時期に集めます。

昔は里山の管理が行き届いた場所へ行くと、枝打ち（枝を切り落とす作業）をしたときの枝が落ちていました。今はほとんどないため自分で枝を切っています。枝を切るときは、残す枝と切る枝のバランスを考え、来年も伸びやすい用に切っているつもりです。

今年は産卵の時期が遅めだったため、来年は早く産卵してもらえよう巣材をすでに飼育ケージへ入れ始め、刺激を与えています。



昨年の枝をストックしています



奥：梅 手前：イヌシデ

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい